

	書類や図面の種類、記載場所	よくある修正内容、添付忘れ	記載上の注意など
1	申請書第一面 申請者の氏名	他の申請書と違う。	旧字体なども含めて、他の申請（許可書等）の漢字と同一にしてください。
2	申請書第一面 申請者の住所	申請者の住所が他の書類と違う。	建築確認申請など他の許可申請等に記載の申請者の住所と合わせてください。
3	申請書第一面 手数料の貼付け	手数料（県証紙）はどこに貼り付けたらいいか	申請書第一面の裏面に貼り付けてください。
4	申請書第二面 1 地名地番その他の書類	地名地番が他の書類と違う。	建築確認申請など他の許可申請等に記載の地名地番の住所と合わせてください。
5	申請書第二面 5 床面積の合計	数値は、6 建て方の各階の床面積の合計と一致させる必要があるか。	<p>建築確認等の面積と同じ数値を基本とします。</p> <p>ただし、カーポートなどの別棟の建築物や、住宅以外の部分の面積を除きます。</p> <p>なお、6 各階の床面積に記載する数値は、以下をご確認ください。</p>
6	申請書第二面 6 建て方ー各階の床面積	面積要件に対象とならない、階段下（物置として使用する場合を除く）や、サンルーム・パイプスペース等の建築基準法の床面積に参入する部分の面積が除外されていない。	<p>4 延べ面積は、建築確認等の延べ面積を記載しますが、6 建て方の床面積では、規模の基準面積を記載することとされているため、以下に示す部分の面積は除いた床面積としてください。</p> <p>【階段部分・ホームエレベーター】</p> <p>上下階の移動空間となる階段は床面積から除く。ただし、階段の下部が便所、収納又は居室や廊下等と一体となっている場合な</p>

			<p>ど、生活空間として利用する部分は除外する必要はない。</p> <p>また、ホームエレベーターは階段部分とみなし、着床階において面積に算入しない。</p> <p>【バルコニー等】</p> <p>建築基準法の確認申請上、開放条件を満足できず、床面積に算入しているバルコニーの部分</p> <p>▼（参考）長期優良住宅に係る Q&A</p> <p>https://www2.hyoukakyokai.or.jp/uc/files/choki_qa.pdf</p>
7	<p>申請書第四面</p> <p>4 住宅の建築の実施時期－</p> <p>着工予定年月日</p>	申請日（受付日）より前の日付となっている。	<p>申請日以前の工事着手はできません。すでに工事に着手している場合は受付できません。</p> <p>工事着手日が当初計画していた日より遅くなっている場合は、修正をお願いします。</p> <p>なお、長期優良住宅認定制度では、申請受付後は、当該申請の認定日を待って着工するなどの制限はありません。</p>
8	配置図	排水経路及び排水先の未記入。	雨水排水及び、汚水排水（浄化槽を含む）の経路及び排水先を配置図に記入するか、排水経路がわかる他の図面を添付してください。
9	図面添付忘れ		用途別床面積表
10	申請書書類の並べる順序	書類はどの順番に並べたらいいか。	別紙「申請に必要な書類等の種類及び並べ順」を参考にしてください。
11	正本、副本の書類	書類に相違がある	製本と副本は同じ書類としてください。

1			
---	--	--	--